

宮大工 後藤史樹さん 「出雲大社 の本殿の屋根工事」について語る

出雲大社「平成の大遷宮」

今年、およそ 60 年に 1 度の出雲大社「平成の大遷宮」が行われる。総事業費 80 億円。2008 年 4 月の開始以来、各地から集められた少数精鋭の職人たちが、5 年の歳月をかけて行ってきたプロジェクトは、まもなく終わりを迎えようとしている。

修復中、高さ 24m の本殿は素屋根と呼ばれる鉄骨の屋根で覆われ、保護された。そこから毎日のように、トントントンと金槌の音が聞こえた。これほど大規模な修復工事ではあっても、電動工具の音が響くことは少ない。昔ながらの工具により、伝統的な方法に基づいて修復が行われるからだ。大遷宮工事に参加した地元の宮大工・後藤史樹さん(54 才)は、こう話す。

「地元文化財の修復に参加できて感無量です。この仕事を大工人生の最後にしてもいいくらいの覚悟でもって取り組んできました」

本殿屋根と檜皮(ひわだ)

素屋根の中に入ると、屋根の高さに合わせて造られた足場に屋根の葺き替え専門の職人が等間隔に並んで座っている。彼らの後ろに積まれていたのが、膨大な枚数の檜の皮——檜皮(ひわだ)だった。

出雲大社の本殿の屋根は、檜皮の下に何百枚もの杉板が二重に敷き込まれている。その継ぎ目には、パテとして漆が詰め込まれ、雨漏りを防ぐ。その上に檜皮が貼られるのは、繊維の強度が高く、腐食しにくいという利点があるからだ。

屋根は片面だけで縦 13m×横 21m、両面合わせた面積はバレーボールコート約 4 面に相当する。その広大な屋根に敷き詰められていた 64 万枚、47トンもの檜皮をす

べて剥がし、新しいものに貼り替えるという気の遠くなるような作業が、今回最も重要な工程だった。

檜皮(ひわだ)を打つ竹釘と「確かな技」

檜皮を打つのは、金属ではなく竹製の釘だ。金釘を使うと、60年の間に風雨によって簡単に錆びついてしまうのだ。竹釘を打ち込む作業には職人の確かな技が必要となる。檜皮の打ち付けには、ミリ単位の正確さが求められる。だから利き手で金槌を操りながら、一方の手は、常に檜皮を押さえていなければならない。

「職人たちは口に40～50本の竹釘をくわえておきます。竹釘を一本だけ口から出すと、金槌を持ったまま利き腕の指先で1本、さっつつまむ。そのまま金槌の柄の部分で板に打ち込んだら金槌を持ちかえ、頭の部分でさらに打ち込むんです」(後藤さん)

片腕で檜皮を押さえたまま、一連の作業を利き腕のみで行うのだ。

「普通の人が竹釘を打つと簡単に折れてしまうけれど、彼らのような職人の手にかかるると、1本打つのに1秒とかかりません」(後藤さん)

※女性セブン 2013年5月23日号

http://www.yasugi-kanko... イベントスケジュール : ... x

Google 検索 ボタン追加 共有 詳細 ログイン 設定

商品の詳細ページはこちら 他のアドオンを表示... おすすめサイト

- 歴史・人物・動物
- 尼子氏・山中鹿介・月山富田城・毛利氏
- お食事
- 特産品
- 観光交流プラザ アラエッサ YASUGI
- 安来道の駅 あらエッサ
- やすぎ縁結びいちごのススメ
- 安来市観光協会Facebook
- アクセス
- 協会員紹介
- 安来市観光情報掲載雑誌のご紹介

安来市観光協会ブログ

『安来へどうじよ』

道の駅 あらえっさ スタッフブログ

『暮らし』の『匠』フェア開催!



モノづくり、そして歴史の町である安来市、その中で、古くから伝わる伝統技術を継承し、その数少ない最高峰の技術で活躍する匠。時代の一步先を読み、最先端の革新技術を提供する匠。

出雲大社などの遷宮にも関わる宮大工や、技能五輪世界大会(アトランタ大会)金メダル受賞の石工、全国漆喰銀絵コンクールで最優秀賞受賞の左官など、優れた職人が伯太の麓ある古民家に集合。

いがいとコラボ 2014 in はくた

最高峰の**伝統技術**
と 最先端の**革新技術**

3/23 (日)
14:00 - 17:00
後藤邸 (安来市伯太町母里185)
入場無料

※車でお越しの場合は特設駐車場(はくた文化センター・母里小学校敷地に設け)をご利用ください。



【出展者】(ステージ出演) 匠によるPRステージも!

岡後扇屋 (宮大工/古の建築技術)	横川伯島堂 (漆具師/呉漆・修復技術)	田部石材粉 (石工/手作業の石工)
備福本製材所 (製材/職人の木匠)	備菜山左衛門コンナラント (左官/漆喰・焼物)	池田竹材工業 (竹材加工/木建築)
クッドアート門脇 (扇子職工/伝統扇子技術)	備盛合商会 (多業種洗滌・コート)	備大谷屋たみ店 (仕立・着付け/ヘア技術)

【主催・問合せ】 安来市商工会 TEL 0854-92-2155 FAX 0854-92-2196

モノづくり、そして歴史の町である安来市。
その中で、古くから伝わる伝統技術を継承し、その数少ない最高峰の技術で活躍する匠。
時代の一步先を読み、最先端の革新技術を提供する匠。
出雲大社などの遷宮にもかかわる宮大工や、技能五輪世界大会(アトランタ大会)金メダル受賞の石工、全国漆喰銀絵コンクールで最優秀賞受賞の左官など、優れた職人が伯太

23:16
2014/05/06